

大和の展望台「龍王山」へ登る！

6月例会 報告

日 時；6月3日（月）9：00～14：30

場 所；「龍王山」585m

コース；J R 柳本駅—長岳寺楼門横—龍王山山頂（南城跡）—長岳寺奥の院—古墳群—崇神天皇陵—J R 柳本駅

参加者；17名

幹 事；塩本 寺田

例会のバラエティー化のため、3年前から企画された軽登山「龍王山」。2年連続して雨にたたれた。一度は台風。

後でわかったことだが、山頂付近にあり「龍王山」の名前の由来ともなっている「田龍王社」は雨乞祈願のお社とか。そのせいかと納得(?)した次第。

さて、ようやく本年は打って変わった好天。日差しは初夏の気候。

J R 「柳本駅」に17名集合。天理市トレイルセンター裏の山の辺の道の長岳寺楼門横からしばらく山麓の農地の端を歩いた後、急な登山道に入る。皆自分のペースで黙々と登ってゆく。



この道は昔「長岳寺奥の院」の参拝道とかで石の地蔵像が多い。

平坦な気持ちの良い新緑樹林の道から急な階段を上りきると天理市から続く舗装道路に出る。

そこから15分ほどで、「龍王山」山頂（南城跡）に到着。標高586mの頂きから眼下に広がる奈良盆地と大和三山、背景には金剛、葛城、二上山等が雄大にそびえる。山上はこの地に覇をとなえた十市氏の南城跡ともなっている。

昼食後、高橋さんから二等三角点の説明を聞



かせていただき、薄暗がりの枯れた樹林の急な道を下山開始。途中「長岳寺奥の院」へ立ち寄る。本尊は不動明王の立派な石仏。付近にはお堂の跡があり、墓碑なども散在していた。

しばらく行くと有名な「龍王山古墳群」の中を通る。総数600基に及ぶ古墳と横穴があるとか。

入口が小さい一つの古墳に豊島さんが入ると蝙蝠が一匹飛び出してきて皆びっくり。中は数人の大人が立っている大きな古墳の空洞となっていた。

ここから道は平たんなのどかな清流沿いの林道歩きとなり、山の辺の道に合流する。



崇神天皇陵の池の横を通り、「黒塚古墳」を見学してJ R 柳本駅へ。結構変化に富んだ山行ハイクの一日であった。

例会としては珍しい軽登山であったので、参加者に感想を寄せていただいた。

— 『中腹からの冷気は街では味わえないものだった。』『この程度だったらまた機会があれば参加したい。』『山頂は展望が開け、涼しく爽やかな風に吹かれて大変気持ちよかった。』『山は何と言っても展望。比較的ゆっくり登れてよかった。』『ちょうど手ごろな快適な山歩きだった。北城跡に寄らなかったのは残念』等々。— (寺田 孝)